

ルクセンブルク情勢（2011年第3四半期〈7-9月〉）

在ルクセンブルク大使館

1. 概況, 主要トピック

【内政】

●国民議会の対日責任者であるルシアン・ティールキリスト教社会党議員が逝去。

【外交】

●アッセルボルン副首相兼外相, 第66回国連総会へ出席。一般討論での演説の他, 砂漠化対処条約ハイレベル会合, ダーバン III, 包括的核実験禁止条約関連会合等に参加。

●クレツケ経済・通商大臣, カナダと米国へ経済ミッションを実施。

【経済】

●アルセロール・ミタル社が, 当国における鉄鋼業界100周年を記念するセレモニーを開催。大公同妃両殿下, ユンカー首相らが出席。

●インフレ率: 7月2.9%, 8月3.3%, 9月3.3%

●失業率: 7月6.2%, 8月6.2%, 9月6.1%

●投資信託資産高: 7月2兆1897億ユーロ, 8月2兆859億ユーロ
9月2兆321億ユーロ

2. 主な出来事

【7月】

(1) 内政

1日 シュナイダー農業大臣, エッテルブルックの農業市を訪問。農業市は, 多様化する農業従事者の役割に関する消費者の理解を深めるための良い機会と評価。

15日 政府と公務員総連盟(CGFP)が公務員の給与と地位の改革に係る二協定に署名。

15日 フリーデン財務大臣, 2011年上半期の国家財政状況を発表。

18日 ビルツェン通信・メディア大臣, サイバー攻撃に対する政府の強化措置を発表。サイバーセキュリティボード, CERT(コンピューター緊急対応チーム)の2つを首相の権限下に設置。

20日 シュミット労働・雇用・移民大臣, 若者の失業対策ロードマップを発表。

25日 政府はエネルギー関連会社Kiowatt社との間で, コージェネレーション発電所の設置に関する協定に署名。

29日 降雪等冬の天候における走行時の冬タイヤの装着を義務づける法案を議会が採択(施行開始は2012年10月)。

(2) 外交

4-13日 クレツケ経済・通商大臣，カナダと米国へ経済ミッションを実施。EU市場へのアクセスの基点としてのルクセンブルクのメリットを強調。

5日 アッセルボルン外相，国連経済社会理事会（ジュネーブ）に出席，教育分野のMDGの実施促進を強調。

13日 アッセルボルン副首相兼外相，ベネルックス外相会議（ブリュッセル）に出席。リビアの移行支援についての3カ国の協調を歓迎。

13日 ギヨーム皇太子殿下，クレツケ経済通商大臣と共に，在サンフランシスコ・ルクセンブルク総領事館創設25周年記念式典に列席。

19日 ヤコブス家族・統合大臣兼開発協力・人道支援大臣，カーボヴェルデを訪問。対カーボヴェルデ第三次協力プログラム（2011-2015年で予算60百万ユーロ。教育，水，衛生，食料援助が優先課題）の着実な実施を確認。ルクセンブルク-カーボヴェルデ間の航空関連協定を締結。

19日 フリーデン財務大臣，キプロスを訪問し，ギリシャ及びユーロ圏情勢について協議。二重課税回避のための二国間協定についての交渉を開始することに合意。

20日 アッセルボルン副首相兼外相，キューバ訪問。二国間関係，キューバ・EU関係，経済改革プロセスについて意見交換。経済，文化，科学技術の発展に係る二国間関係強化に関する共同声明に署名。

22日 ルクセンブルク政府，アフリカの角の食料危機に関して，1.3百万ドルの追加的人道援助を発表。

26日 アッセルボルン副首相兼外相，国連の青少年に関するハイレベル会合で演説を行い，開発協力を通じてパートナー国の職業教育・訓練への支援の努力を継続する旨言及。パンキムン国連事務総長と，北アフリカ，中東，ノルウェー銃乱射事件，リビア情勢について協議。

（3）経済

1日 CACEISがFastnetと合併。

5日 当国財務省と欧州投資銀行がマイクロファイナンス分野の技術支援を共同で実施することに合意。今回の合意で3回目であり，これまでにカメルーン等9か国で15プロジェクトを実施。

6日 ユンカー首相，フリーデン財務大臣，シュミット労働大臣らが，ルクセンブルク企業家連盟（UEL）代表者と会合を開催。

11-12日 ユンカー首相及びフリーデン財務大臣がユーログループ会合及びEU財務相理事会に出席（於ブリュッセル）。

13日 ユンカー首相，フリーデン財務大臣，シュミット労働大臣らが，労働組合と2者間協議を行う。

14日 ユンカー首相とアッカーマンドイツ銀行取締役会長が会談し，ユーロ圏経済・

財政事情等につき話し合いを行う。

15日 欧州銀行ストレステストの結果が公表された。当国の国立貯蓄銀行は狭義の中核的自己資本比率基準を満たし「合格」。

21日 ユンカー首相がユーロ圏加盟国首脳会議に出席（於ブリュッセル）。ギリシャ第2次支援策（計1090億ユーロ）につき合意。

（4）その他（大公室等）

5日 アンリ大公殿下，第123回国際オリンピック委員会（ダーバン）に参加。

24日 ツール・ド・フランス2011でルクセンブルク出身のシュレック兄弟が2位及び3位に入賞。アンリ大公殿下，パリの最終ゴールでファイナルセレモニーに列席。

【8月】

（1）内政

5日 ヴィズラー持続的成長・インフラ大臣，グレヴェンマッハーの警察の新たな建物の建築現場を視察（開設は2012年5月の予定）。

5日 シュナイダー農業大臣，メルシュのアグロセンターを訪問。

8日 ディ・バルトロメオ保健大臣，ラジオRTLにおいて，バーやディスコ等公共の場での禁煙に係る法案が明年内には議会で可決されるべき旨言及。

11日 モデルト文化大臣，ロレット・ノートルダム教会など，修復を終えたクレルボー城に係る4つの建物を視察。

22日 フィンデルに，亡命希望を拒否された外国人の一定期間の収容を目的とした施設が開設。

23日 フリーデン財務大臣，ルクセンブルクのリビアの2銀行口座にある資金を当面凍結する旨，ラジオRTLにて発表。

26日 ルシアン・ティール・キリスト教社会党議員（対日議会責任者）が心臓発作で逝去。68歳。

（2）外交

12日 フリーデン財務大臣，ハーグにて，デヤーヘル蘭財務大臣とユーロ圏の短・中期的な展望につき協議。

22日 ベネルクス3国がリビア情勢に関する共同声明を発出。カダフィ大佐は投降すべき，国連が今後の民主国家への円滑な移行を進めるために中心的な役割を果たすべき，また，リビアコンタクトグループ会合の早期開催を期待する旨に言及。

29日 ユンカー首相，フランソワ・バイユー仏議員と首相府で会談。

（3）経済

3日 ・ユンカー首相がトレモンティ伊経済大臣とユーロ圏危機につき首相府で2時間近く協議。

・統計局が、7月の消費者物価指数上昇率を2.9%と発表。

4日 建設会社ソキモ(Socimmo)が商事裁判所から破産宣告を受ける。

【9月】

(1) 内政

5日 ユンカー首相、ハンブルクでシュミット元独首相と非公式に会い、ユーロ圏の経済・財政状況につき議論。

9日 ユンカー首相、ユーログループ議長としてG7財相会合(マルセイユ)に出席。

16日 Oeko-Foire2011(グランドレジオンの最大級のエコ関連市)開幕。

17-18日 文化遺産の日(Journees du patrimoine)。通常は非公開の文化、歴史的建築物などを一般公開。

21日 ジャン・クロード・オロリッシュ新大司教の宣誓式がビルツェン宗教大臣立ち会いで行われる。

27日 ユンカー首相、ユーログループ議長として欧州議会(ストラスブール)の一時程度程度の質問セッションに参加。

(2) 外交

2-3日 アッセルボルン副首相兼外相、ポーランド・ソポト市にてEU加盟国外相非公式会合に出席。中東和平プロセス、リビア情勢、EU政策(東方パートナーシップ首脳会合)、ベラルーシ情勢等について討議。

6-8日 アッセルボルン副首相兼外相、第42回太平洋諸島フォーラム出席のためオークランドを訪問(ルクセンブルク閣僚として初のNZ訪問)。マッカーリー・NZ外相と中東和平プロセスやパレスチナに係る第44回国連総会でのシナリオにつき協議。

7日 ユンカー首相、ブルガリア訪問。ボリスフ首相、ディアンコフ財務相と二国間関係やEU、国際情勢につき意見交換。

8日-9日 ユンカー首相、トルコ訪問(2度目の公式訪問)。エルドガン首相と二国間協力関係やEUへのトルコ加盟交渉につき会談。

9-10日 アッセルボルン副首相兼外相、ベネルックス・バルト国外相会合(エストニア)に出席。中東和平プロセス、EU・ロシア関係等につき協議。

19-24日 アッセルボルン副首相兼外相、第66回国連総会へ出席。一般討論での演説の他、砂漠化対処条約ハイレベル会合、ダーバンIII、包括的核実験禁止条約関連会合等に参加。

22-23日 ハルスドルフ内務・国防大臣、EU防衛大臣非公式会合(ワルシャワ)へ参加。

29-30日 ユンカー首相、東方パートナーシップ第二回サミット（ワルシャワ）に出席。

（3）経済

1日 統計局が集合住宅販売価格に関する統計を発表。2011年第2四半期における集合住宅価格は1年前に比べ5.7%上昇。

9日 統計局がインフレ率3.3%を発表、石油、燃料の価格高騰によるインフレ率上昇を指摘。

10日 ユンカー首相がユーログループ議長を辞任する準備があると各紙が報道。

14日 フリーデン財務大臣とシャンク住宅大臣が、住宅のエネルギー効率改善促進のための新税制措置を発表。

15日 ・国民議会が欧州金融安定化ファシリティ（EFSF）保証額増額を承認。

・アルセロール・ミタル社が、当国における鉄鋼業界100周年を記念するセレモニーを開催。大公同妃両殿下、ユンカー首相らが出席。

16-17日 ユンカー首相とフリーデン財務大臣が、ユーログループ会合及びEU財務相非公式理事会に出席（於ポーランド）。

19日 ルクセンブルク証券取引所が、フランス初の点心債（人民元建て債券で、通常香港で発行される）の上場を発表した。

22日 アルセロール・ミタル社が、当国シフランジュ・ロダンジュでの業務縮小を労働組合に通告。

24日 Banco Itau当国拠点のスイスへの移転が各紙で報道（当国には2010年に進出）。

29日 ・政労使三者協議の開催。

・金融情報局（CRF）が、マネーローンダリング等に関する2010年度年次報告書を発行。

・統計局が65歳以上の高齢者に関する統計結果を発表。2010年において、65歳以上の高齢者が人口に占める割合は14%、平均寿命は女性83.3歳、男性78.1歳。

（4）その他（大公室など）

14日 シーラン国連世界食糧計画事務局長が大公殿下に謁見。

16日 2006年ノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス教授が大公妃殿下に謁見。